



伊豆市

議会だより

No.61

発行:伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp>

編集:議会広報委員会

〒410-2413 静岡県伊豆市小立野38-2

TEL 0558-72-9906 **2019.8.1発行**



萬城の滝

目次

■ 6月定例会の概要・委員会審査	2
■ 一般質問	5
■ 議会報告会を開催しました	9
■ 政務活動費の報告・9月定例会の予定等	10



議会ホームページへ

令和元年 6月定例会

令和元年6月定例会が6月3日から27日までの会期（25日間）で開かれ、報告5件、補正予算3件、条例の制定1件、条例の一部改正7件、その他1件、人事案件1件が上程され、審議の結果、原案のとおり可決・承認・同意しました。

一般会計の総額は、 179億4,355万円になりました。

令和元年度補正予算

◆一般会計補正予算

人事異動に伴う職員給与等の調整のほか、プレミアム付商品券事業に係る5,705万円、風疹追加的対策事業として674万5,000円、子ども・子育て支援システム改修業務委託料998万8,000円、牧之郷地区計画施設整備支援補助金500万円、消防団員退職報奨金255万3,000円など、総額4,455万9,000円を増額するもの。

条例

◆消費税及び地方消費税の税率引上げに伴う関係条例の整理に関する条例の制定

消費税及び地方消費税の税率の引き上げに伴い、伊豆市コミュニティ防災センター条例ほか37の条例に規定する使用料等を改正するもの。（8%課税対応の金額を10%課税対応の金額に改正）

◆伊豆市牧之郷地区計画の区域内における建築物の制限に関する条

例の制定

牧之郷地区計画の区域内における建築物について建築基準法に基づく制限を定めることにより、適正な土地利用を図り、良好な居住環境を確保するためのもの。

その他

◆伊豆市指定金融機関の指定

令和2年1月1日から令和3年12月31日までの期間、指定金融機関をスルガ銀行に指定するもの。

人事

◆伊豆市固定資産評価審査委員会

委員の選任

遠藤 護氏、鈴木正志氏、荻原重孝氏、金指 武氏を選任するもの。

議案

チェック

委員会の議案審査で、次のような質疑がありました

総務経済委員会

◆一般会計補正予算（第2回）

問 修善寺駅のクールミストの設置工事と南口の車道分離帯改修工事の詳細について。

答 駅のクールミストは東京オリンピック大会の猛暑対策として、一時的に設置するため当初予算に100万円を計上していました。今年の4月に、県の交付金として東京2020オリンピック大会輸送関連施設等整備事業交付金制度が制定され、この設備が全額県の交付金150万円で常設ができるため、当初予算の100万円を減額するものです。

南口の分離帯改修工事は当初予算には計上されていませんでしたが、こちらも県の交付金が制定されましたことにより、補正予算に計上しました。大会開催時の輸送ルートは南口ロータリーを乗降場所とするのが最善の方法として、現在県と調整中です。輸送バスがベロドルーム方面から南口ロータリーでUターンする場合にロータリー内にある三角の分離帯の一部が輸送バスの通行に支障となるため縁石を撤去する工事です。

問 消防団員の退職報奨金の制度について。

答 退職金は消防協会の制度では5年以上ですが、伊豆市は2年で支払いをします。2年から4年は伊豆市だけの単費での支払いとなります。退団しない限り勤続は継続します。再入団の場合は2年を経過すれば退職金の対象となります。

問 退団者が62名から78名と25%も増加した要因は。

答 退職金の予定対象者の調査は、来年度の当初予算編成前の9月から10月の間に行います。その半年後に退団されるわけですが、仕事の関係の転勤や家庭の事情で退職を余儀なくされる方がいますので、結果として差が発生します。

◆伊豆市牧之郷地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定

問 開発に係る地主の意見が本当に吸収された開発行為が進められているのか、加えてこの開発行為は住宅何戸を予定しているのか。

答 平成26年から地権者を中心と

した皆様方にご意見を伺いながら、今回地区計画として策定いたしました。この地区計画は開発をすることが全ての目的ではなく、地域の皆さんや地権者の方の考えに寄るものと思います。住宅戸数ですが、120から150戸程度の区画ができると考えています。

問 牧之郷の地区計画の道路及び道路完成の期間の説明を。

答 区画道路は接道のない土地をなくすのが一番の目的で、この道路上に建物は建てられません。隣地まで道路を付けることに対し補助金が出ます。この補助金制度は10年間の期限を設ける予定です。

◆伊豆市指定金融機関の指定

問 最近全国で指定を固辞する自治体が報道されたようだが、市内の金融機関の意向調査の内容は。

答 今年の2月に市内の現行の金融機関3社のほか、静岡中央銀行と伊豆の国農協にも意向調査を行いました。勤務時間は9時から15時、職員派遣手数料は年間100万円、振込手数料について無料とするなど、今後の課題もあ

りますが、基本的な合意のもと、伊豆市ではスルガ銀行、静岡銀行、三島信用金庫の3社が受託の意向をもらいました。

教育厚生委員会

◆一般会計補正予算(第2回)

問 児童福祉総務費の子ども・子育て支援システム改修業務委託の内容と、申し込み受付のスケジュールは。

答 保育料の無償化は3歳から5歳までです。保育料は無料ですが、給食費は保護者負担となります。3歳以上は無償化のシステムを変えなければいけません。あわせて、給食費の改定の部分のシステムもあります。360万円以下の所得につきましては無償化になるもので、その部分のシステムも変更するための委託料です。
給食費については7月から各園で説明会を開き、保育料は無料だが、給食費は個々に徴収させていただきます。ただくことを説明していきます。

◆伊豆市税条例の一部改正
問 個人市民税の非課税範囲の拡充で、子どもの貧困にも対応という提案があったが、もう少し具体的に。

答 すでに生活保護や、障がい者の一定の所得の方が非課税となっていますが、新たに事実婚状態ではない方、いわゆる現に婚姻をしていない方、もしくは配偶者の生死が明らかでない方の前年の合計所得金額が135万円以下であれば、個人住民税の非課税措置の対象に加えるものです。



討 論

◆議案第4号 令和元年度
一般会計補正予算(第2回)

賛成討論 (小長谷 順二議員)

今回の補正予算のおもなものは、牧之郷地区の地区計画施設として区画道路を整備するための補助金、東京2020大会輸送関連施設整備交付金を活用した猛暑対策の修善寺駅クールミスト設置工事・スムーズなシャトルバスの運行に必要な修善寺駅南口車道分離帯改修工事や、市の直営で調理業務をおこなっている市立こども園の給食業務を民間に委託する債務負担、幼児教育・保育の無償化に対応するためのシステム改修などです。必要な予算を可決し、事業の推進を図っていただきたい。



令和元年6月定例会で審議した議案

件名	議決結果	波多野靖明	山口 繁	星谷 和馬	間野みどり	鈴木 正人	下山 祥二	杉山 武司	青木 靖	永岡 康司	小長谷順二	小長谷朗夫	西島 信也	杉山 誠	森 良雄	木村 建一
----	------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	------	------	-------

■賛否が分かれた議案 予 算

令和元年度伊豆市一般会計補正予算(第2回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
-----------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

条 例

専決処分の報告及び承認について(伊豆市税条例の一部改正)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
消費税及び地方消費税の税率引上げに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
伊豆市土肥地区温泉事業運営協議会条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
伊豆市牧之郷地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

人 事

伊豆市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
-------------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

※1 ○ 賛成 × 反対

※2 議長(三田忠男)は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。

■全会一致で可決した議案等

令和元年度伊豆市一般会計補正予算(第1回)	伊豆市税条例等の一部改正について
令和元年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)	伊豆市介護保険条例の一部改正について
伊豆市国民健康保険税条例の一部改正について	伊豆市指定金融機関の指定について

市政を問う

～一般質問～



録画配信へ

6月定例会での一般質問は、11名の議員が行いました。質問と答弁を要約してお知らせします。(質問順)

質問

防犯カメラを設置し 伊豆市の安心安全を



(森 良雄議員)

考えますか。

防犯カメラは犯罪捜査の上でも大きな効果を発揮します。

防犯カメラの設置について市長の考えを伺います。

市長答 防犯カメラは犯罪抑止 力に有効です

防犯カメラによる犯罪抑止力が有効だということとは把握しております。

市では、市有施設の管理のため、防犯カメラの設置をしています。

また地域においても、自治会や町内会、自主防災会や商店会など一定の地元の単位等で声を上げていただきましたら、補助金等の制度等検討させていただきますと考えています。まずは地元でしっかり必要性等検討いただきたいと思えます。

質問

牧之郷地区計画が決定 された今何をすべきか



(小長谷朗夫議員)

牧之郷区をコミュニティ広場を中心とした住商共存地区、駅周辺の住居地区、神社周辺の田園住居地区と三つのエリアに分けられた区内を地区計画に沿ったまちづくりを順調に推進しようとする時、開発業者の誘致等を含め、市としてどのような支援が考えられるか。

建設部長答 行政として可能な範囲 での支援をしていく

牧之郷駅周辺に点在する開発可能な農地の乱開発を防ぐため、どの土地にも接道できる区画道路を地区計画で配置しています。その区画道路の民間による整備を促進するため、今回補正予算で提案している通り、今後10年間という期限付きで、補助金制度の創設を予定しています。また、開発業者の誘導については、これまでも建築士会や宅建業協会、行政書士会に説明を行なってきましたが、地元や近隣の開発業者に対し、地区計画の概要・補助金制度などについて説明の機会を設けていきます。

質問

公立高校の魅力を高める地域づくりへの支援



(小長谷順二議員)

静岡県内外に、地域の魅力を発信し、入学を募集することは地

域の子供達に適度な刺激や競争が生まれ、多様な価値観を醸成することができ、低下しつつある地域持続性を高めることにつながると考えています。

伊豆総合高等学校土肥分校の魅力を高めるための当市の取り組みについて伺います。

市長 長井 人材育成と大学との連携教育を模索中です

土肥分校は名称も組織も変更になり、商業科もなくなり、一時非常に危機感を持ちました。

国は高校の普通科の教育のあり方について、地域に根差した多様なカリキュラムの考えを示しています。

静岡県立大学と静岡文化芸術大学の観光コースとの交流プログラムで、伊豆半島で必要な人材育成と、土肥キャンパスそして大学との連携による7年間教育、こういった考えのもと現在議論をしています。

質問

子どもたちを交通事故から守るために



(杉山 誠議員)

無防備な歩行中の子どもたちが巻き込まれる悲惨な交通事故が後

を絶ちません。

大津市での事故を受け、全国で園児の散歩コースなどの緊急点検が行われています。

幼い子どもたちを交通事故から守るためには、道路施設などの整備はもちろん、子どもから大人までの安全教育が欠かせないと思いますがいかがですか。

市長 長井 大変重要な課題で、新規マニュアル作成中

交通指導員を委嘱し、全ての小学校区に配置して登下校の安全確保に努めています。

園外保育時のマニュアルを見直し、お散歩マニュアルを作成中です。園長会を通じ公立・民営とも歩調を合わせ取り組んでいます。園だより等で親子の交通安全啓発を行っています。

交通安全教育は大変重要なため関係各方面と連携し取り組んでいます。昨年年度、登下校時での被害は発生しておりません。交通安全教室は、各学年の発達段階に応じてきめ細かく行っています。

質問

災害廃棄物の処理



(西島 信也議員)

おりお尋ねします。

①大規模災害(東海・東南海地震レベル)による人的、物的被害の想定。

②その際、災害によって発生する廃棄物の種類及び数量は。

③災害廃棄物の処理の方法は。

市長 長井 市で分別・焼却・処分難しいときは県が対応

①レベル1、東海・東南海・南海地震のM8.7程度での県の第4次被害想定では、亡くなる方が約1,000人、全壊・焼失棟数約400棟、うち津波200棟、山・がけ崩れ100棟、揺れや液状化100棟です。

②環境省発行の災害廃棄物対策指針に示されており、生活ごみ、避難所ごみ、仮設トイレのし尿、宅内の片付けごみ、損壊家屋の撤去に伴う廃棄物などです。

③伊豆市の災害廃棄物処理計画の方針どおり、3Rの観点から一次・二次仮置場で分別後、焼却・最終処分します。

質問

行政の最大使命は市民の安心安全を守ること



(下山 祥二議員)

高齢者の自動車事故報道が後を絶ちません。伊豆市として高齢者の事故防止対策はどのように考えますか。通園通学時の交通安全対策防犯対策の取り組みは十分にできていますか。

高齢者の運転免許証の自主返納者へのサポート体制の現況はどうか。民間活力を活用した移動販売車を復活させて買い物難民の課題解決を図りませんか。

市長答

これからも関係機関と連携しながら取り組みます

当市でも高齢者の運転事故は増加しており、さらなる施策の検討が必要と考えます。

教育長答

昨年は学校・保護者や関係機関と通学路の合同点検を行い、対応を決めました。

学校でも、関係機関と連携を密に非常時の防犯教育・交通安全教育に取り組みます。

健康福祉部長答

大津市での事故を受け、交通安全の徹底見直しを指示しました。

お散歩コースについては、今後も交通安全など徹底していきます。

質問

地域公共交通の今後



(青木 靖議員)

2017年3月、「伊豆市生活交通ネットワーク形成計画（伊豆市地域公共交通網形成計画）」が策定され、2025年までの9年間の計画期間での取り組みがスタートしました。

現在までの、全体計画の進捗状況はいかがですか。

地域内を移動する実証実験の結果を踏まえての今後の展開は。

市長答

今後も実証運行を進め検討いたします

全体計画の進捗は、拠点ネットワーク化、公共交通の魅力づくり、共同の仕組みづくりの3つの基本方針の実現に向け進めています。

地域内「リーダー交通」については、天城湯ヶ島地区予約型乗り合いタクシー「お出かけ天城」は利用人数が伸びず、稼働率25%及び一便当たり1.2人の目標に届きませんでした。中伊豆も下回っており。今後もさらに6ヶ月間実証運行を検討しており、最終的には地域内交通検討会議にて本格運行への移行について検討します。

「リーダー交通とは、幹線道路と支線（支線）とをつなぐ地域公共交通の事。」

質問

オストメイトトイレの伊豆市の現状は？



(間野みどり議員)

東京オリンピック・パラリンピック、そして子育てや住む人達にやさしいまちづくりを目指して、病气や事故で不自由な方達のためのオストメイトトイレの今の伊豆市の現状と今後、増設などの取り組みについてどのように考えていますか。

健康福祉部長答

利用者のために設置を進めていきたい

市内の公共施設における「オストメイトトイレ」は、生きいきプラザと昭和の森会館のみ設置されているのが現状です。今後は、利用者の方々に周知するため、民間施設についても設置状況を調査し、公表の可否を確認した上で広報誌やホームページ等で発信したいと考えています。また、今後の増設等については、現在建設中の道の駅や、新こども園に設置の予定です。

オストメイトトイレとは、人口肛門や人口膀胱保有者が使用するトイレのこと

質問

保健センターの東京ラス
ク工場拡張の経過

(木村 建一議員)

①湯ヶ島地区の旧保健センターの移転スケジュールの前倒しは、東

京ラスクが早期に工場拡張を求めたからだということでしたが、その後の経過、工場拡張の説明を求めます。

②その経過が、客観的に職員も市民も知ることができるようになっていますか。

長
務部
答拡張は計画
中
市民にはチラシ等で周知です

旧天城保健福祉センターについては、この四月から東京ラスクに貸し出してあります。現在の活用は旧保健教室と調理室は、ラスク作りの体験教室として使い、旧保健ルームは、キッズルームとして活用されています。

工場の拡張の状況は、まず店舗の拡張を先行し、工場の拡張に向けては、現在設計等の計画作りに取り組んでいると伺っています。

支所移転等の市民等への説明ですが、説明会・意見交換会や全戸配布のチラシなどでご報告しています。

質問

人口減少対策の窓口
機能をワンストップ

(山口 繁議員)

人口減少対策については、真剣に実効のあるものを考えていくべきですが、その情報発信と具体的対応の窓口はワンストップで対応できるようにしなければなりません。

総合計画にも示され、市長も言及してきたことですが、一向に進んでいないのはどのような理由からですか。

長
市
答伊豆市全力を挙げて取り
組むべき課題です

人口危機宣言以降、すべての部・課において人口減少を考えて施策を講じるよう指示しています。

一つの課にまとめて担当するより、情報発信戦略の強化も含めて、戦略課が全体を統括するのが良いと思います。

今まで、いろいろ取り組みましたが、新たな人口減対策のシンボルとなる事業について、議会と一緒にやって、取り組みたいと思います。

質問

消防団出動費の見直し
と研修の在り方

(波多野靖明議員)

消防団員も少子高齢化の進む中で担い手が少なく、その人数は定数に及んでおらず、地域によっても開きがあります。そこで、団員が安心して活動が出来る様に、出動費の見直し、広域での活動や人脈作りにより、幅広く知識も充実し、いざという時の連携にも繋がるような研修の在り方が必要と考えます。

長
市
答待遇面について、近隣市
町と比較し検討します

出動費は、出動や訓練1回当たり4時間未満1,100円、4時間以上2,200円を支給。団の運営費は、本部運営費147万円、ラッパ隊運営費24万円、方面隊運営費1方面隊当たり30万円、分団運営費25万円と他に4,000円×団員数で交付しております。近隣市町と比較して全体として低くはないですが、4時間以下の半日当については検討します。

研修については分団ごと・支部ごとの訓練の他、近隣市町、駿東伊豆広域消防などと合同で、広域連携を踏まえた訓練を実施しております。

議会報告会 ～みんなで語る会～ を開催しました



伊豆市議会では、令和元年5月20日(月)、21日(火)、23日(木)、24日(金)の4日間、4地区で「議会報告会」を開催し、平成31年度一般会計予算の概要及び連合審査会報告とワークショップ(意見交換)を行いました。市民の方から議会や市政について、たくさんの貴重なご意見をいただくことができました。今後の議会活動に活かしてまいります。ありがとうございました。

平成31年度一般会計予算についての質疑

Q 矢熊筏場線は、伊豆市全体の問題として考えているのか。

A 伊豆半島の道路ネットワーク構想のなかで主要路線として整備する方針。市で整備した続きを県が整備する方向で調整している。

Q 新ごみ処理施設について、議会で話し合っていないのか。

A 両市で4人ずつ議員を出して、一部事務組合議会で議論しています。



●ワークショップでの意見 (たくさんのご意見を伺いましたが、ここでは一部を紹介します。)

5/20 (月) 中伊豆地区 中伊豆ふれあいプラザ

- 出生数を増加させるために、出産、育児の支援が必要
- 地域づくり交付金は使い勝手が悪い。思い切った使い方はどうか。
- 新婚世帯に分譲地を。家を建てる場所が少ない。
- 消防団が減少している。自分たちのまちは自分たちで守るしかない。

5/21 (火) 天城湯ヶ島地区 天城湯ヶ島支所

- 人口減少を前提とした政策を立てるべき。
- 若者の定住がないと人口減少になる。若者が定住できないのはなぜか。
- ひとり親が移住してきても、市外からくるとなじめない難しさがある。
- 子どもたちの遊び場が必要である。

5/23 (木) 土肥地区 土肥支所

- 人口減少、少子高齢化で税収減になり市の財政は大丈夫なのか。
- 耕作放棄地だらけ、空き家の活用はどうするのか。
- 港を改良して、大型クルーズ船が入れるようにしたら？
- 地域にあった企業誘致で市が自立できるようにしてほしい。

5/24 (金) 修善寺地区 生きいきプラザ

- 婚活の充実が必要。
- 移住・定住・Uターン施策を考えるべき。
- 南伊豆町のように東京の老人ホームを建てたら？
- 地域おこし協力隊が定住しないのはどういうことか？

※皆さまからいただいたご意見や実施報告書、アンケート結果などの詳細については、伊豆市のホームページに順次掲載していきますので、ご覧ください。

平成30年度政務活動費の執行状況

(単位：円)

会派・個人名	所属人数	収入	支出					返還額	
		交付金	調査研究費	研修費	資料作成費	資料購入費	要望・陳情		支出計
IZU未来	7人	1,260,000		680,060	1,080	90,608	26,784	798,532	461,468
市民第一クラブ ※1	4人→3人	660,000	175,190	30,000	1,020	129,875	21,280	357,365	302,635
木村建一		180,000		142,632		29,833		172,465	7,535
森 良雄 ※2		180,000	202,800			41,560		244,360	0
西島信也		180,000			1,500	99,993		101,493	78,507
杉山武司 ※2		180,000		10,340		188,616		198,956	0
鈴木正人		180,000		48,212			4,200	52,412	127,588
永岡康司 ※1		45,000		10,000	340	15,111		25,451	19,549

※1 永岡議員は平成30年11月14日市民第一クラブ脱会

※2 支出が交付額を上回っている金額は自費

※3 詳細は、ホームページに公開していますのでご覧ください

議会傍聴・視聴について

本会議はごなたでも傍聴することができます。当日、本庁2階へお越しください。

なお、団体の場合には、事前に議会事務局までご連絡ください。

本会議の様子は、市のホームページからインターネットにより生中継と録画中継による配信もしていますので、ぜひご覧ください。
(議会事務局 0558-72-9906)

9月定例会の予定

場所 本庁2階 議場
時間 午前9時30分～

8月27日(火) 行政報告
議案上程

9月3日(火) 一般質問

4日(水) 一般質問

5日(木) 一般質問

10日(火) 議案質疑

27日(金) 委員長報告
質疑・討論・採決

※変更となる場合があります。
ご了承ください。

9月定例会

委員会の予定

場所 本庁2階 委員会室
時間 午前9時30分～

9月11日(水) 総務経済委員会

12日(木) 教育厚生委員会

13日(金) 常任委員会
(連合審査)

17日(火) 常任委員会
(連合審査)

編集後記

夢と希望と期待に満ちた令和の時代が始まり、山滴る季節となりました。

令和元年議会定例会から、定例会の名称が6月定例会と開催月に変更となりました。

新たな時代は地方分権型社会への転換が進み議会の役割と責任は益々重くなります。

その期待に応えるためには、「情報の共有」「住民参加」「議会機能の充実」等多くの為すべき課題があります。

伊豆市の地域主権社会への実現を願ってやみません。

議会広報委員 杉山 武司